



＼楽しい催しが盛りだくさん！ わくわく感謝デー

成田市場では、毎月イベントを開催しています。一般の人も買い物をすることができるので、この機会に市場を訪れてみませんか。新鮮な食材と楽しい催しを用意して、皆さんの来場をお待ちしています。

日時＝毎月第4土曜日 午前8時～11時

内容＝生マグロ解体実演即売会、野菜ルーレット、お楽しみ抽選会など

※くわしくは成田市場振興協議会(☎24-1224)へ。

＼市場メシを食べよう！ 成田市場のサービス棟

成田市場には、水産物を扱う水産棟、野菜や果物を扱う青果棟、加工食品などを扱う関連食品棟のほかに、飲食店が軒を連ねるサービス棟(食堂棟)があります。

それぞれの飲食店では、その日に市場から仕入れた食材を使った料理が提供され、市場を訪れる多くの人がここで食事をしていきます。

もちろん、一般の人も利用できます。成田市場でおいしい丼飯や刺し身などを堪能しませんか。



どんな野菜が当たるかな



大迫力の生マグロの解体



食堂はいつも大にぎわい



脂が乗った新鮮な刺し身を提供

生産者から私たちへ

—産地と食卓をつなぐ成田市場

静かな時が流れる深夜2時。この時間から、全国各地で生産された野菜や果物、水産物などを載せたトラックが成田市場に入場を始める。その荷を待ち構えるのは卸売業者。卸売業者は、場内に店舗を持つ仲卸業者に、集荷した品物を競りなどの方法で販売する役割を担っている。一方、仲卸業者は、長年の知識と経験を生かして質の良い物を見極める食材評価のプロ。まだ外が暗いうちに、その目利きによって仕入れたさまざまな品物を小分けし、店頭で並べて販売の準備をする。空に日が昇ると、小売業者や飲食店などの買い出し人が市場を訪れ、品物を購入していく。こうして、新鮮な食材が私たちの下へ届けられている。市場が開場したのは、成田空港が開港する4年前の昭和49年。40年以上前からずっと、生産者と私たちの食卓をつなぎ続けている。



水産棟の1日の流れ



AM2:00 市場に品物が搬入され始める。深夜の静かな場内には、荷物を運び入れる音だけが響き渡る



AM4:00 仲卸業者が品物を店頭で並べる準備を行う。鮮度が命の魚を匠の技で素早くさばっていく



AM5:00 毎日5時30分に行われる競り。冷凍されたマグロが一列に並べられ、仲卸業者らが品質を見極める

高い値を付けた業者を見分ける競り人

「手やり」で値段を提示する仲卸業者ら



AM5:30

開始のブザーとともに、競り人と仲卸業者らのスピーディーな取引が始まる。この日、全てのマグロの取引にかかった時間はわずか5分だった



AM7:00

新鮮な水産物が店頭で並べられ、続々と買い出し人が市場を訪れる